

2 高速道路騒音等調査資料

1. 件名

高速道路騒音等調査業務

2. 業務目的

本調査は、滝沢村内の高速道路沿道付近における環境騒音の実態を把握することを目的として、騒音調査と道路条件等のデータ収集を行うものである。

3. 調査地点

調査地点は、表-1 及び図-1～2 に示す滝沢村内の高速道路近傍の民家4箇所について実施した。

表-1 調査地点一覧

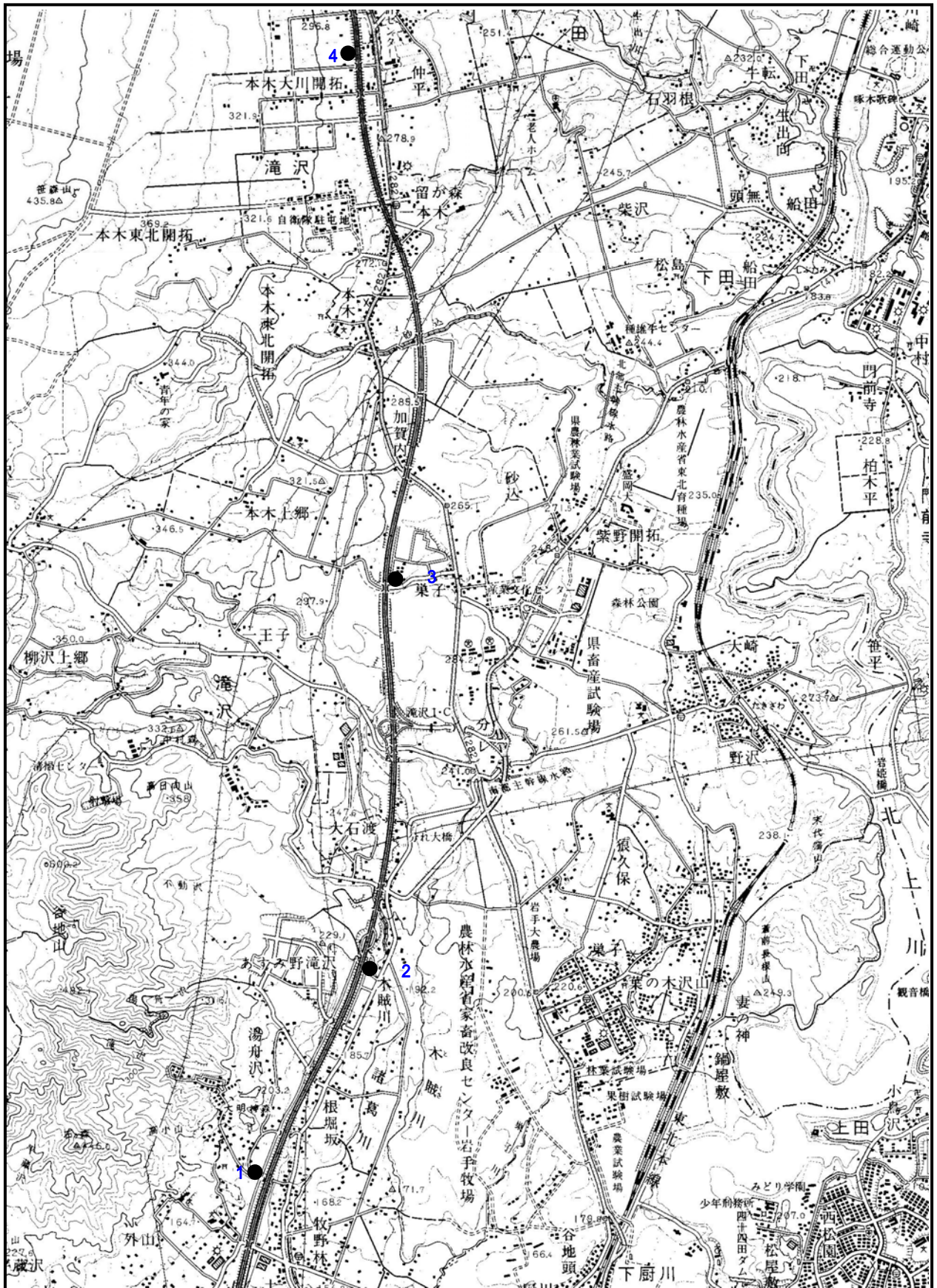
	所在地		キロポスト
1	字中村 36-11		517
2	字湯舟沢 454-33		519
3	字巢子 1228-91		523
4	字後 268-1053		527

4. 調査期間

調査期間は、表-2 に示す連続7日間以上の調査結果の中から当該自動車騒音の状況を代表すると認められる5日間のデータを採用した。

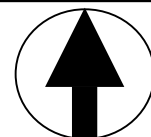
表-2 測定期間

地点	調査期間	採用期間
1	平成17年12月6日～12月14日	平成17年12月7日～12月12日
2～4	平成17年12月5日～12月13日	



【凡例】

● : 調査地点



SCALE 1:50,000

0 1.0 2km

図 - 1 調査地点位置図

5. 調査結果

騒音レベルの調査結果の総括を表-3 に示す。

表-3 調査結果総括表

	測定場所	騒音レベル(dB)		マイクロホンの高さ
		昼間	夜間	
1	字中村 36-11	66	62	4.8m
2	字湯舟沢 454-33	62	59	1.2m
3	字巣子 1228-91	63	60	4.0m
4	字後 268-1053	58	56	1.2m

騒音レベルの値は、各時間帯における等価騒音レベルの5日間のエネルギー平均値を表す。

2～4 地点では、昨年度も調査を実施している。表-4 に昨年度の調査結果を示す。本調査結果を昨年度の結果と比較すると、昼間・夜間とも3地点がわずかに高い値を示し、他の2地点は低い値を示した。この要因としては、以下のことがあげられる。

3 地点：マイクロホンの設置高さの違い。

2 及び 4 地点：交通量、車両速度、路面状況、気象等の測定条件の違い。

表-4 昨年度（平成16年度）調査結果表

	測定場所	騒音レベル(dB)		マイクロホンの高さ
		昼間	夜間	
2	字湯舟沢 454-33	65	62	1.2m
3	字巣子 1228-91	62	59	1.2m
4	字後 268-1053	63	62	1.2m

騒音レベルの値は、各時間帯における等価騒音レベルの5日間のエネルギー平均値を表す。

6. 環境基準との比較

今回実施した調査結果を「騒音に係る環境基準（平成10年9月30日環境庁告示第64号）」と比較し、表-5に整理した。

比較の結果は、昼間・夜間とも環境基準を満足する結果であった。

表-5 騒音レベルと環境基準との比較

地点	環境基準類型	用途地域		時間帯	環境基準*	騒音レベル**	比較結果
1	無指定	無指定		昼	70	66	
				夜	65	62	
2	無指定	無指定		昼	70	62	
				夜	65	59	
3	無指定	無指定		昼	70	63	
				夜	65	60	
4	無指定	無指定		昼	70	58	
				夜	65	56	

注)* : 単位はdB

** : 環境基準を超過していない

環境基準(騒音環境基準 平成10年9月30日環境庁告示第64号、平成11年3月26日県告示第258号)は、騒音規制地域における幹線交通を担う道路に近接する空間の基準値を示す。